

県庁舎で営巣しているハヤブサのヒナ誕生の続報と成長について

今年も県庁舎で絶滅危惧種ハヤブサが営巣していますが、平成26年から6年連続でヒナの誕生が確認されました。ヒナの成長に影響を与えないように配慮しながら観察してきた様子を紹介します。

1 ふ化について

平成31年4月25日(木)、県庁で営巣中のハヤブサからヒナ1羽が誕生したことを職員が確認しました。その後、4月26日(金)に2羽目、4月27日(土)に3羽目のヒナの誕生が確認されました。残念ながら卵1個はふ化しませんでした。

- ・4卵のうち3卵がふ化しました。
- ・ヒナの誕生は平成26年から6年連続となります。

2 ヒナの成長について

親鳥は、1日に何度もヒナたちに餌を与えており、ヒナたちは競い合うように親から餌をもらっています。ふ化した3羽はすくすくと成長し、大きくなってきています。

3 ハヤブサについて

希少種カテゴリー：県レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類、国レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類。
国内希少野生動植物種。

生態：海岸部の生態系の頂点に位置する鳥。県内では能登半島と加賀地方の海岸で繁殖。

4 県庁舎でのハヤブサの営巣

ハヤブサは、海岸近くの断崖に営巣する習性があり、県庁舎の高層階のベランダは、ハヤブサの営巣場所に適していたと考えられます。

- ・県庁舎でのこれまでの繁殖状況

H17~25:産卵のみ

H28:5卵中、5卵ふ化

H26:4卵中、3卵ふ化

H29:5卵中、5卵ふ化

H27:4卵中、4卵ふ化

H30:5卵中、5卵ふ化

- ・県では、繁殖成功に向け、専門家の指導を受け、ベランダに砂を敷き、また窓のブラインドを下ろし刺激しないようにするなど留意をしてきました。
- ・今回のヒナ誕生については、自然環境課ホームページにて紹介しています。

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/index.html>

4 取材について

ヒナの保護の観点からマスコミの現地取材は、ご遠慮下さい。

※写真及び動画データを提供します。必要な社はご連絡下さい。

(連絡先：生活環境部自然環境課 外線 076-225-1476/内線 4265)



大きくなってきた3羽のヒナ（令和元年5月13日撮影）



親鳥とヒナの様子（令和元年5月8日撮影）



親鳥がヒナに給餌する様子（平成31年4月27日撮影）